

《担当者名》下山 美由紀 m_shimoyama@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

胃瘻又は腸瘻による経管栄養を実地研修指導講師の下、実地研修協力者の協力の基に、安全、安楽かつ効果的に手順に沿って実施できるよう研修をおこなう。

【学修目標】

1. 胃瘻又は腸瘻による経管栄養を実地研修指導講師の下、実地研修協力者の協力の基に、以下の手順を20回以上、安全に実施することができる。
 - 1) 実施準備（指示の確認、手洗い、必要物品の準備、栄養剤の確認・準備）
 - 2) ケアの実施（説明、栄養剤と研修協力者の確認、環境整備・姿勢保持、栄養点滴チューブの接続、経管栄養の実施、注入の終了、注入後の観察、注入後の姿勢保持）
 - 3) 報告（実施後の報告、ヒヤリハット・アクシデントの報告）
 - 4) 片づけ
 - 5) 記録
2. 医師・看護職との連携体制について確認、実施することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	胃瘻または腸瘻による経管栄養	実地研修指導講師の下、研修協力者の協力の基に、胃瘻又は腸瘻による経管栄養を安全に実施できる。 要件として ・実施すべて手順通りに20回以上実施できる。 ・実地研修指導講師による評価を受け、20回以上クリアする。 研修にあたっては、研修協力者の基本情報等を確認するなど協力者を理解すること。 経管栄養の実施にあたっては、個別の留意点などを指導講師に確認しながら、安全に実施すること。 医師・看護職との連携体制の確認とともに連携することができる。	下山

【授業実施形態】

面接授業
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実地研修評価判定基準に則った評価であり、「1人で実施できる」と評価された場合で、以下を満たす場合に修了となる。
 当該ケアにおいて最終的な累積成功率が70%以上であること。
 当該ケアにおいて最終3回のケアの実施において不成功が1回もないこと。

【教科書】

最新介護福祉士養成講座15 第2版「医療的ケア」 中央法規

【学修の準備】

実地研修にあたり、学内での自主的な演習等を通して手順の確認するなど、研修に備えること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【その他】

この科目は、「認定特定行為業務従事者」として認定証の交付を受け、医行為実施の資格を得るための研修となる。

【実務経験】

看護師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、実践に即した教育を行う。